



## 恋より研修

徐 艳  
X U Y A N

中国の旧正月の時、私達研修生六人は近くの神社へお願い事をしに行きました。皆それぞれに願い事があるようです。願い事をした後で仲間が私に言いました。「徐さんは何のお願いをしたの？」私は「もちろん研修と健康のことよ」と答えました。しかし仲間は「本当は恋愛でしょ」と言い返します。私は「本当だってば」と言って強引にその場を取り繕ったのです。

私は自分でも明るい性格だと思います。昨年九月に研修生として来日しました。私は会社に来て初めて朝礼に参加した時、社員全員の前で簡単な自己紹介をしました。八十人位いました。でも全然緊張しませんでした。緊張するどころか、持ち前の好奇心で端から端まで社員の人の顔を見ました。社員の大部分は男性で、しかもおじさんが多かったです。私達のような若い人は少ししかいませんでした。しかしそんな中で一人の男性が私の目に留まりました。その人は痩せていて背が高くメガネを掛けていて優しそうな人でした。私は密かに嬉しくなりました。しかしそんな出来事もその場だけで終わり、その後は何事もなく研修に没頭したのでした。

暫くして社内旅行があり、研修生である私達も参加することになりました。そして幸運にも「あの人」と同じバスに乗り合わせるようになったのです。しかし残念ながら話すことはで

きませんでした。私は知っている社員の人から彼の名前を聞きました。名前は渡邊さんです。彼は四課にいます。私と部署が違うので、普段は顔を合わせることはありませんでした。

夜は宴会がありました。私達も今まで食べたことのない料理に挑戦しました。そしてその後社員の人達とカラオケをしました。気を聞かせた社員の人が私と渡邊さんを隣同士で座らしました。私は緊張しました。何か気まずい雰囲気でした。しかし渡邊さんはかなりお酒に酔っているようでした。そして私が歌う番になった時のことです。突然渡邊さんが嘔吐してしまったのです。私の服にも少しかかりました。そして渡邊さんは私の歌を聞くことなく急いで帰ってしまいました。

それから数日後、渡邊さんが私を捜していたのです。私にプレゼントをくれるためでした。旅行でのことをとても気にしていたようです。私は渡邊さんに何度も「大丈夫です。大丈夫です」と言って遠慮しました。しかし結局受け取ってしまいました。そして私は考えました。もう直ぐ二月十四日なので、お返しの意味を込めてチョコレートプレゼントしようと思ったのです。

当日私は勇気を振り絞って渡邊さんにチョコレートを渡しました。本当に恥ずかしかったです。でも一ヶ月経った三月十四日には何もありませんでした。私は少し失望しました。私は夢見たいな事を考えていたのかもしれませんが。これからは余計な事を考えず、研修に集中したいと思いました。

- ・区 分 研修生
- ・国 籍 中国
- ・職 種 仕上げ
- ・受入れ企業 株式会社エクストエンジニア
- ・受入れ団体 PNJ 事業協同組合